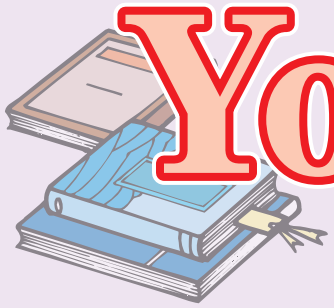
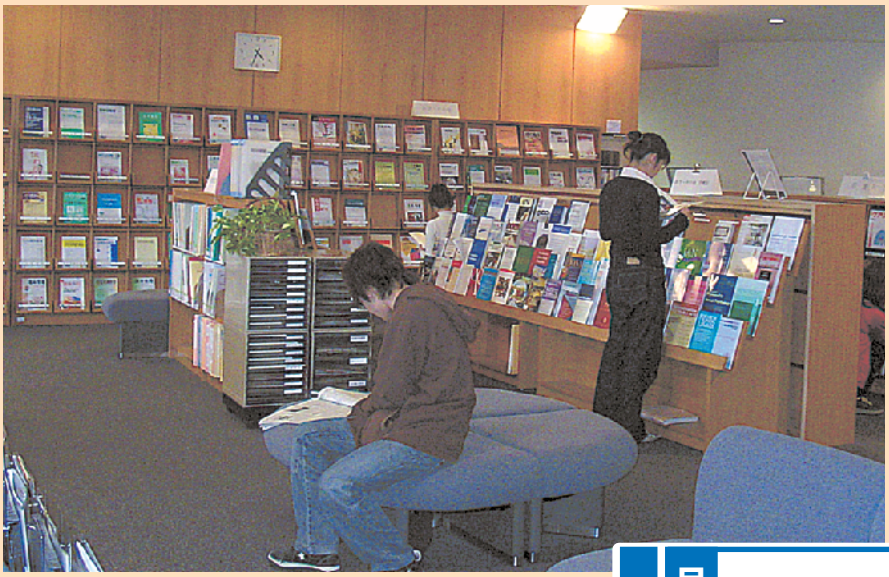


Yonzya よんじゃー

Vol. 1
2006年3月10日

図書館だより

山梨県立大学　山梨県立女子短期大学
山梨県立看護大学・看護大学短期大学部



目次 CONTENTS

巻頭言 ---------- 2
図書館紹介（飯田キャンパス） -------- 3
図書館紹介（池田キャンパス） -------- 4
Voice ---------- 5～6
検索のキホン ---------- 7
Q＆A、編集後記 ---------- 8

原点に立ち返ること

図書館長　小田切　陽　一

気温が低く、薄ら寒いにもかかわらず、どことなく湿気が感じられる初春のロンドンを訪れた。中心街のSOHOにあるジョンスノー・パブの店前にあるポンプを見に行くのが目的だった。夜ともなれば大勢の若者が行き交う賑わいだ街へと変貌するのだろうが、昼下がりの人影は予想どおり少なかった。目的のパブの所在と目印となる看板はあらかじめ脳裏に刻みこんでおいたので、ほとんど迷うことなく発見することができた。ブロードストリートの一角に、誰一人振り返るでもなく一機の手動式くみ上げポンプがたたずんでいた。足下のメモリアルボードにはジョンスノーの名とポンプのいわれが書き連ねてあった。

Dr. John Snow（1885−1999）の名を、疫学分野では知らない者は誰もいない。最近ではすっかりなりを潜めてしまったたちの悪いコレラ（アジア型）が世界的な流行を頻繁に繰り返していた19世紀、世界都市ロンドンも例外ではなくその災禍から逃れることはできなかった。1850年に端を発した大流行時に、麻酔医でもあった彼は、患者の発生状況に関して時系列と地理的分布に基づいて克明に記載することで、感染源として、住民が利用していた「飲み水」の存在に着目することになる。自然実験と称される、2つの水道会社からの給水を受けていたほぼ社会階層も等しい住民を給水条件の違いだけで分けたみごとな比較対照研究によって、仮説とした「汚れた水」を証明した彼はすぐさまロンドン市の当局者とかけあって汚染されていると思われた水道会社から給水されていたポンプの汲み上げレバーをはずさせることに成功し、そしてその効あって流行は終息する。この業績は、コレラ菌を発見したとするコッホの業績の30年以上も前の話である（実際にはイタリアのフィリッポ・パシニがその頃発見していたのだが）。

私がここを訪れた理由は、ある研究の行き詰まりをなんとか打破するためであった。思考や計画、そして実行が立ちゆかなくなったときに人がとる行動のひとつの選択肢は振り返ることである。立ちゆかなくなった原因を探るべく、筋道を検証するために振り返ることも大切だが、いよいよとなれば一気に原点に立ち返るしかないのかもしれない。そしてそこは現在直面している問題とは乖離した世界であるかもしれない。しかし原点に立ち、そこから考え直してみることで新たな展開が始まることもある。間もなくして幸い私の研究も新たな展開をみせた。

Broadwick st.（当時のBroad st.）にあるJohn Snowパブ

地域にひらかれた図書館として30年

山梨県立大学図書館（飯田キャンパス）
山梨県立女子短期大学図書館

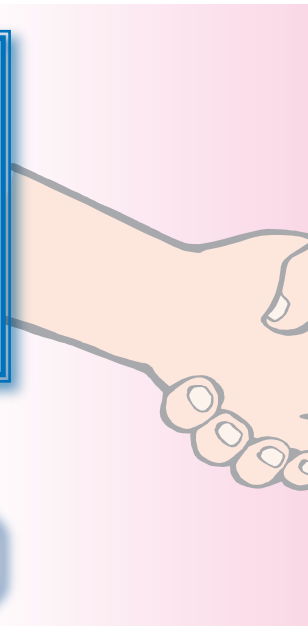
1966年
山梨県立女子短期大学開学時に開館。
当時の建物は、現在新館の旧第一研究棟で、約２万冊の蔵書でスタート。

1982年
現在の場所に２階建の新館を建築。
18歳以上の県民に開放した。

1999年
図書資料の電算化を行い、学内や一般県民がHP等を利用して蔵書の検索ができるようになる。

2005年
山梨県立大学が開学したことにより、飯田キャンパス・池田キャンパスの図書館システムを統合。開館時間の延長や一般県民利用者を16歳以上からと年齢制限を引き下げた。

2007年
８万冊収蔵可能な書庫棟増設予定。



本年度から開館時間延長や利用者の年齢制限を下げたことにより、学外者の利用も倍近く増えています。本図書館の特徴を次に上げてみました。

どんな図書があるのかな

平成16年度末の蔵書冊数は約７万冊です。資料の特徴は、山梨県立女子短期大学開学以来の学科である国文学や家政学、幼児教育学関係の資料が多数あり、国際教養科に関する語学関係資料なども多くあります。特に、絵本や紙芝居は充実しています。また、大学開学の学科に合わせた、総合政策・国際コミュニティ・福祉関係・人間形成に関する資料なども昨年から積極的に購入しており、平成21年度までに11万冊を目標に整備しています。

図書以外の資料の利用は

最新号以外の雑誌や紀要の貸出をします。レポートや卒論の資料にも活用できます。他には「山日新聞」「朝日新聞」の縮刷版、ビデオやDVDもあります。貸出はできませんが、館内の利用はできます。

パソコンも使えます

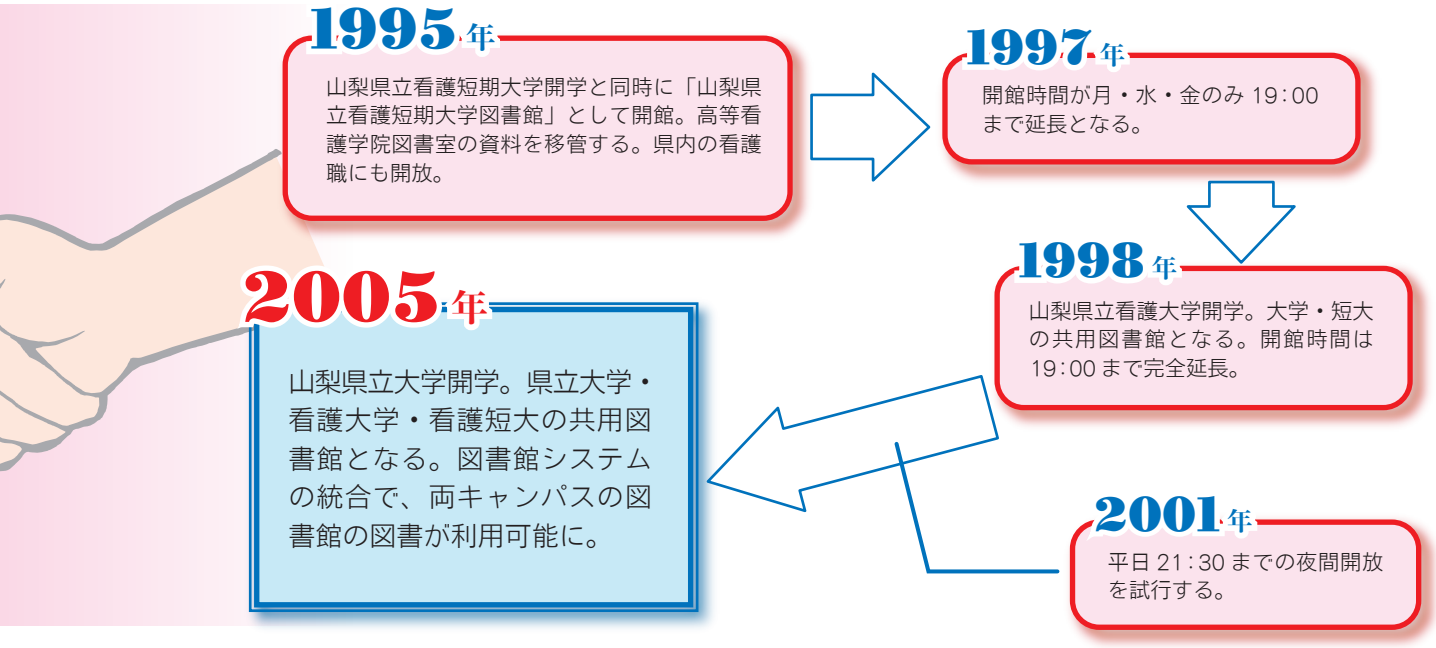
館内ではインターネットコンセントや無線LANが整備されています、自分のノートパソコンを持込で、図書館資料を活用しながら文章作成が可能です。

本学の先生にはどんな著作があるのかな

本学の先生方の著作を集めたコーナーを設けて、紹介しています。ぜひ、手にとって読んでみてください。

看護の専門図書館として

山梨県立大学看護図書館（池田キャンパス）
山梨県立看護大学・看護大学短期大学部図書館



現在、蔵書は約 6 万冊です。その 5 分の 1 を看護系の図書が占めています。実習やレポートなどで、学生さんたちが本をたくさん借りていきます。図書館では、本の貸出だけではなくて次のようなこともできますので、ご活用ください。

勉強したい

参考書架には、調べものに役立つ参考書がたくさんあります。貸出はできませんが、手元に置いて勉強するにはお役立ちの資料です。集中して勉強したいときには、個室のスタディールームがおすすめです。2 時間まで（予約がなければ延長可）利用できます。カウンター端に置いてあるノートに記入して使ってください。

映像を見てみたい

AV コーナーで所蔵の視聴覚資料を観ることができます。DVD 資料も少しずつですが充実してきました。グループで見るときはカウンターで手続きをとれば、学内の教室でみることができます。

新聞をみたい

現在図書館にある新聞は、山梨日日新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、The Japan Times です。当日の新聞は閲覧室に出ています。過去 3 ヶ月分は保存していますので、見たいときはカウンターまで。

最近の看護系のニュースを知りたい

雑誌が並ぶ書架に、山梨日日新聞に掲載された看護関係の記事のスクラップが置いてあります。パラパラ見るだけでも、最近の状況がわかって便利。ぜひ活用してください。

自分の調べたいテーマを特集している雑誌はないかな

http://libweb.yamanashi-ken.ac.jp/linusnc_tokushu.html にアクセスすると、図書館所蔵雑誌の特集記事が検索できます。検索のコツは、「雑誌名を表示する」を指定することです。

飯田キャンパス VOICE

国際政策学部の大嶽知代さん、田中裕君、短大幼児教育学科の畑元子さん、丸山葉子さん、そして、図書委員の箕浦先生に「図書館のこれまでとこれから」について語っていただきました。

（文責：堀井）

（上段左より、箕浦先生、田中君
下段左より、丸山さん、大嶽さん、畑さん：堀井研究室にて）

畑さん　：昨年まで、図書館は５時で閉館になってしまいましたが、今年度から閉館時間が延びて良かったですね。

丸山さん：貸し出し期間も１週間延びたのではないですか。

田中君　：ずいぶん、便利になって使いやすくなったんですね。でも土曜日は利用できないんですね。

大嶽さん：土曜日、日曜日も使えるようになればいいですね。そして、パソコンも利用できればいいと思うのですが。

畑さん　：普通の日も含めて、もっと利用率があがれば土曜日も開館ということになるのではないですか。今、利用者が必ずしも多くはないですから。

箕浦先生：図書館でパソコンが使えるというのはどういうメリットがあると考えていますか。

畑さん　：やはり、情報検索ができることです。

丸山さん：調べながら、レポートも作成したいと思います。

大嶽さん：（今、パソコンは活用できないですが）図書館の司書の方々からは大変親切に資料調べの手助けをしていただきました。以前、国際法の学習に必要な本が借り出されていて利用できなかった時、それに代わる本があるとわざわざダンボールを開けて、関連する本を貸し出してくださいました。

箕浦先生：今、新設の大学になって、新しい本をどんどん購入していますから、まだ整理できていなくてダンボールの中に入っていたのかな。

大嶽さん：社会学の本が少ないと思っていたのですが、これから充実してくるのですね。

箕浦先生：そうですね。新学部の専攻に関連する本は増えてきます。そして、書庫もできると聞いておりますので、書庫ができるともう少し閲覧スペースも広くなるのではないかと思います。

丸山さん：今でも、幼児教育関係の本は充実していると思いました。実習前に、資料調べをしてたいへん役にたちました。

大嶽さん：小説なども充実してくるといいと思いますね。

丸山さん：最近の小説などを置いてくれるともっと利用者が増えるように思います。専門書ばかりだと利用率は上がらないように思います。

田中君　：図書館の外に自動販売機を置いて、さらに木の近くにベンチなどを置いておくと人が図書館を中心に集えるような雰囲気になるのではないでしょうか。もちろん、マナーを守ってですが。

箕浦先生：公共の図書館と大学の図書館の役割は異なるのではないかと思います。ある程度、大学独自の図書館のあり方が考えられてもいいのではないかとも思いますね。当面は、他大学の図書館と連携しながら、不足している部分を補っていくことが重要ですね。

畑さん　：４年経ったときに、さらに利用しやすい環境になっていればいいですね。そのときは、私も活用させていただければと思います。

池田キャンパス VOICE

山梨県立看護大学短期大学部３年
加賀美麻衣子

図書館はグループワーク等の資料を集めるために友人たちと活用することも多いが、個人で集中し課題を仕上げるにはスタディルームが有効である。自分のパソコンを持ち込み、静かな環境で取り組むことができる。必要時は看護専門書やインターネットも活用することができるので、疑問を即時解決しながら学習できる。テスト前やレポートの締め切りが近く追い込みをかける時にはおすすめできる図書館の活用法であると思われる。できることなら、土日にも開館していただけると学生には非常にありがたい。

山梨県立看護大学４年
山田菜々美

私はこの学校に２年前に編入しました。前の学校が総合大学だったのに対し、本校は看護の専門大学ということもあり、看護に関する様々なジャンルの書物が多く、実習、授業などに大いに活用させてもらいました。また、本校にない場合は飯田校の図書館も使用しました。４年生になり利用回数が増えましたが、主に卒業論文に必要な文献検索や、実習の際の勉強の場でした。環境もよく、９時まで開館している事がとてもありがたかったのですが、どうしても平日だけでは間に合わないときは土曜日か日曜日のどちらかだけでも開館してもらえればと思いました。

NAC 湯村　**浅 野 和 子**

こんにちは！私は現在、准看護師の勉強をしています。この図書館は学習スペースも広く、専門の書籍もあり学習に役立つビデオも整備され、夜遅くまで開館しているのでよく利用させて頂いております。図書館には真剣に学んでいる学生がいますので、その雰囲気が私の良い刺激となります。今は疾病や看護に関する本を利用することが多いのですが、図書館には教育や文化や哲学、心理、芸術、宗教、歴史その他沢山の種類の本もあり、もっといろいろな本を読んで心豊かにしていきたいと思っています。図書館が学生で賑わうのは実習中や試験中のようですが、私はもっと多くの働いている看護職の方々が日頃からこの図書館を利用されることを願っています。

山梨県立大学大学院１年
佐野宏一朗

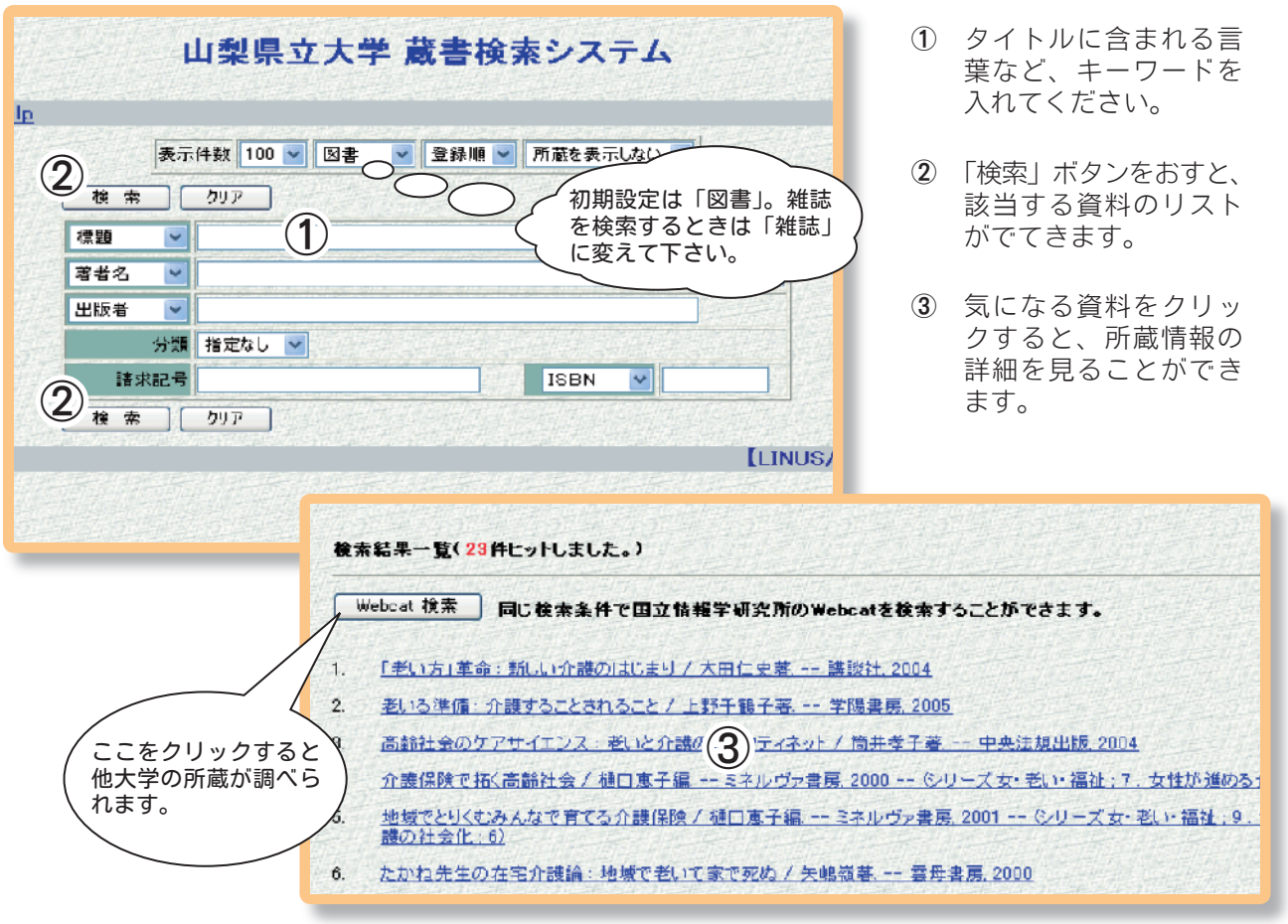
本学の図書館は今年度から池田・飯田キャンパス双方の図書館を利用できるようになったこともあり、蔵書されている書籍の幅が広がりました。また看護系の蔵書の豊富さは目を見張るものがあり、本当にすばらしい図書館であると思います。大学院では国外雑誌や洋書を必要とする機会も増えましたが、国外の書籍も豊富で蔵書がない場合も司書の方々が迅速に複写を取り寄せて下さるので本当に感謝しています。ただ蔵書の検索システムに関して、池田・飯田それぞれの蔵書を別々に検索することが出来た方が使い易いと思います。

蔵書検索システム

検索のキホン

― あなたは使いこなしていますか？ ―

図書館で所蔵資料を調べるとき、検索システムを使っていますか？検索方法をちゃんと身につけることで、いち早く自分の見たい資料にたどりつけるようにしましょう。



① タイトルに含まれる言葉など、キーワードを入れてください。

② 「検索」ボタンをおすと、該当する資料のリストがでてきます。

③ 気になる資料をクリックすると、所蔵情報の詳細を見ることができます。

詳細情報では以下の点に注目！

下のように表示された場合、「県大」（県立大学図書館）と「看護」（県立大学看護図書館）の両図書館に１冊ずつあることを意味しています。図書状態が「保管中」か「貸出中」かを確認してください。所在が「閲覧室」「２階閲覧室」「参考書架」などであれば、図書館内の書架に並んでいます。「書庫」「閉架書庫」となっているものは、カウンター職員に出してもらってください。図書は、請求記号を頼りに探してください。

【所蔵情報】

図書番号	図書状態	館名	所在	資料区分	巻冊次	請求記号
0010030183	保管中	県大	2階閲覧室	図書		369.2||Uen
1110000138	保管中	看護	閲覧室	図書		369.2||ウI

利用案内 Q&A

みなさんに図書館をもっと利用してもらうために、Q&A形式で紹介します。

Q 図書館の利用時間は？

A 県立大図書館（飯田キャンパス）　9:00～19:00
看護図書館（池田キャンパス）　9:00～21:00（貸出は19:00まで）

Q 学外者は利用できますか？

A 県立大図書館は、16歳以上の山梨県在住、通勤、通学している方なら利用できます。
看護図書館は、県内在住の看護有資格者、医療・保健・福祉に携わる方が利用できます。

Q 貸出冊数は？

A 学内者（学生・教職員）5冊2週間（延長1回まで）
学外者（一般県民など）3冊2週間（延長1回まで）

Q 他のキャンパスの図書館の図書が借りたいのですが。

A 本学の学生、教職員は両館が利用できます。また、他方の図書館の図書の配本サービスも行っています。

Q 課題についての資料をどのように調べたらよいかわかりません。

A ご相談ください。どのような資料があるか、また、どこの図書館に資料があるか検索方法なども教えます。

Q コピーはできますか？

A 図書館内の資料でしたら、著作権の範囲内に限り1枚10円でできます。

Q 本学以外の資料の複写を手に入れることが可能ですか？

A 料金（実費）がかかりますが、可能です。ご相談ください。

など、図書館や資料検索に関する質問は開館時間内でしたら、いつでもお受けいたします。
カウンターにお声をかけてください。

編集後記

図書館広報誌「Yonzya（よんじゃー）」いかがだったでしょうか？
両キャンパス図書館が統合され第1号。このタイトル名は学生の公募で決定いたしました。
今回の紙面では、皆さんに両図書館をより良く知っていただきたいと考え、両キャンパスの図書委員が力を合わせ編集いたしました。
また、学生さん方にも図書館への意見やコメントをいただきました。
ご協力ありがとうございました。

Yonzya（よんじゃー）　2006年3月10日 発行

発　行
山梨県立大学図書館
山梨県立女子短期大学図書館
甲府市飯田5−11−1　TEL：055−224−5340
E-mail:lib@yamanashi-ken.ac.jp

山梨県立大学看護図書館
山梨県立看護大学・看護大学短期大学部図書館
甲府市池田1−6−1　TEL：055−253−9429
E-mail: toshokan@yamanashi-ken.ac.jp